

千葉市

手をつなぐ育成会だより

第 159 号

平成31年(2019) 3月14日
千葉市手をつなぐ育成会

会長 島田 貴美代

千葉市稲毛区作草部2-4-5

TEL・FAX 043-206-4050

✉ chiba-chibahands@dance.ocn.ne.jp

研修会

大人になった彼らの姿をどう存じますか？

「発達障害児者」への

ライフステージを通じた支援・第2弾」

昨年10月25日、でい・さくさ

べにて、東京学芸大学の橋本創

一教授をお迎えして、昨年1月

には第1弾「乳幼児期・児童期

の支援」、今回は第2弾「青年

期・高齢期の支援」の研修会を

行いました。44名の参加があり

ました。

《知的障害者の高齢化について

の研究機関が無い》

自ら調査研究を開始された橋

本教授ですが、知的障害者は

一般高齢者より若い段階からの

介護が必要になると話されます。

その一方で、高齢でも健康で

いるための医療・健康診断・長

期的予防の取り組みがありませ



我が子の将来にそなえて

ん。成人期の彼らを診てくれる
病院も多くはありません。

《知的障害者の健康と高齢化・

身体疾患について》

障害のある人は総じて全ての

菌に対して脆弱性があり、様々

な病気や成人病、体力・気力・

集中力の低下は健常者のそれよ

り5年から10年は前倒しで起き

てきます。日頃の健康診断や病

院での受診・検査に応じられる

ようにしておく事が大切です

し、年一回は体力測定もするな

ど、今の生活環境や活動が本人

に見合ったものかどうか確認・

調整していく事が必要になり

ます。

《口腔衛生について》

定期健診や日頃のケアはもち

ろん、摂食嚥下機能障害につい

ても留意し、その場合には食材

の調理法などの見直しと配慮が

必要になってきます。

《精神疾患》

問題行動や適応障害につなが

り得る精神神経症状の発症もあ

ります。頑張りすぎていない

か？生活環境に無理がないか？

といった事を常に見直してみる
必要があります。また、学校卒
業以降経過が良好でうまく環境
に適応して過ごせるか否かは、
対人関係がうまく作れるかどう
かが大きなポイント。成人期を
乗り越えるためにも「ストレス
発散」は必要なことです。
《いつかは別れる・元気なうち
にお別れを》
成人期は親子の別れ方につい
て考える時期です。家族の絆は
何物にも代えがたいものでは

地域で生きる／育成会啓発活動

昨年11月24日、千葉市社会福

祉協議会都賀地区部会(障害者

福祉委員会)の集まりで、千葉

市コミュニケーション支援

ボードの説明をさせていただきました。

まず、島田会長の挨拶後、親

子で参加した松川智子さん、渡

辺君子さん、佐久間がそれぞれ

息子の障害特性を交えながら自

己紹介をしました。

次いで、松川智子さんより、

主に指定避難所でのコミュニ

ケーション支援ボードの使い方

等などの説明後、体験コーナー

として「我が息子たち」を相手

に避難者カードを作成していた



親子一緒に頑張りました

が、家族への愛着が過ぎるとい
う事は、死別や兄弟の結婚と
いった家族の動静による影響を
大きく受けてしまうという事で
もあります。各々の位置づけや
役割が変わる中で、本人がそこ
に順応していけるように、状況
に応じてヘルパーなど第三者を
導入しながら、社会の中に自ら
の立ち位置を作り、仲間を作り、
家族以外の「大好き」を作って
いく事が大切です。

(研修部 石橋)

できました。

当日の参加は、民生委員の
方々でしたが、「実際の体験が
出来て良かった」との声があり
ました。(副会長 佐久間)

障害者と家族の安定した暮らしのために



真剣に聞き入る参加者

昨年12月7日、でい・さくさべにて、地域生活支援拠点検証事業の委託先である(社福)あしたば中野学園より、江澤嘉男氏と菅野直子氏をお招きし、これまでの経緯と実際に支援した対応例、今後の課題等についてお聞きしました。参加者は41人でした。

【地域生活支援 拠点等の概要】

緑区の知的障害に対応を限定、(社福)あしたばが持つ機能とコーディネートによる面的整備型とし、四半期ごとに検証を行うことで新たな課題への対応を可能とした。

【具体的な内容】

登録制で、現在19名が登録。

①相談↓電話や窓口の一次対応は同一建物内の委託相談支援事業所が行い、緊急案件は地域生活支援拠点等担当コーディネーターが引き継ぐ。夜間や休日は同一事業者内の入所施設にて電話を受け、相談支援専門員に繋ぐ形をとったが、緊急案件は実績としては少なかった。

②緊急時の受け入れ↓原則事前登録制で(社福)あしたばの持つ短期入所で受け入れ、平成30年度は長期化の場合に2次の受け入れとして既存の短期入所事業所に引き継ぐことを実施。

③体験の機会

④専門的人材の確保

⑤地域の体制づくり他
対応してきた中には、親が高齢で個別サービスに全く繋がっていないといったケースや、知的障害のある父親が子育てしている家庭にサポートに入ったケースもあったとのことでした。どちらも緊急を要するものであり、困難状況が明確になっていきました。

【今後の課題】

①緊急時の対応が必要となる

潜在ニーズの早期把握
委託相談事業所と

②支援拠点の役割分担
③短期入所の空き状況の共有化

④全市への展開

事業者間では利用者の目線に立つことは難しいのでいろいろな意見が欲しいというお話でした。

「本人を変えるのではなく、環境を整えること、インフォーマルなものを繋ぐことが大事」、など親の意識についてのお話もあり、たくさんのお話を学べた説明会でした。

(広報部 前田)

経験が安心に

拠点の福祉避難所運営訓練

昨年10月31日、植草学園に於いて千葉市拠点の福祉避難所の運営訓練が行われました。身体障害者、知的障害者、高齢者施設の利用者が避難者として参加し、育成会からは本人7名、保護者7名が出席しました。

朝、一次避難所となった図書館フリースペースで受付、避難者カードを記入しました。その後、福祉避難所へ移動し、受付を済ませた後、居室へ案内されました。

《個々に合った過ごし方で》

居室は段ボールで個人のスペースが仕切られており、床に敷くアルミシートやエアマット、ブランケットなどが用意されていました。段ボールベッド



が設置されているスペースもあり、好みの場所で過ごすことが出来ました。

体温・血圧などバイタルチェックのあとは、個人スペースでくつろいだり、避難所内を散策したり、それぞれのペースで自由に過ごしていました。

昼食は水で戻せるアルファ米(炊き込みご飯・カレーピラフ・白米から選択)、豚汁(学生の炊き出し)、水が提供されました。

午後は再びバイタルチェックがあり、余暇活動として『東京五輪音頭2020』を避難者と支援者が一緒に踊りました。最後は避難誘導訓練を行い、この日の訓練は終了しました。

《感想》

親子で訓練に参加するのは初めての体験でしたが、いつもと違うことが苦手な娘にとっては、いざという時のための貴重な経験となり、親にとっては災害時の備えについて考えるいい機会となりました。

(広報部 齊藤)



座りごちはいいかな...

営業時間
月～金
10時～16時



SNSの口コミで広まり、お子さんを連れたりベビーカーを押しながらご近所のお母さま方が立ち寄って下さっています。

昨年8月に(社)福千葉市手をつなぐ育成会の就労新規事業「じよぶ・さくさべ」がオープン、一階にあるシフォンケーキとパンを製造販売する就労継続支援B型「ブーランジェ」が昨年10月にオープンしました。

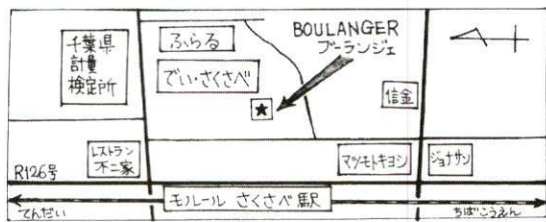
現在は障害のある方男性3人、女性7人と常勤職員、パート、それぞれ2人の方が働かれています。

利用者の皆さんは長い間「でい・さくさべ」の調理室で製造されてきました。お店で働くことのイメージがわかない方もいるので、改装中の建物を見学しながら皆さんの意思確認をしていったとお話がありました。

BOULANGER

ブーランジェ

— オープン —



こだわり卵の
シフォンケーキが
おすすめです

プロのパン職人はいませんが、皆さんでシフォンケーキ、パン、バウンドケーキなど、すべてを製造しています。

店番も利用者の皆さんに。午前と午後一人ずつ、週に一回は回ってきます。皆さん張り切って取り組んでいます。

千葉市稲毛区作草部2-4-35
☎ 043-372-5000



以前はオープンが小さく、ハーモニブラザや保育園など受注先が限られていましたが、オープンが大きくなったことで(外側が熱くならないオープンなので火傷にも安心です)、こどもルームなどへも配達が出来ようになりました。仕事も忙しくなり、立つての作業時間が長くなりましたが、より自主性、意欲を持った仕事ぶりになってきたそうです。これからは、工賃につながるようになればというお話でした。



「ハートのパン」プレーン、チョコのほか
かぼちゃなど期間限定の味も

旅愁と笑顔の二日

文化部親睦旅行

12/12

冷たい雨が降りしきる中、船橋にある1983年から5年間にわたり南極を往復した「南極観測船SHIRASE」に乗船しました。かなり急な階段をすりにつかまりながら昇り降りしたり、案内をして下さる元自衛官の方の説明に複雑な日常を忘れて遠い南極に思いを馳せることが出来ました。

船を降りる頃には雨もやみ、サッポロビール工場に移動して整然とビールが詰められていく様子を見学。その後ラウンジで和やかな雰囲気の中、ビール(ソフトドリンクも用意)の試飲をしました。

「いい経験が出来て参加して良かった」「こういう企画もいいわねー」などと嬉しい感想も。会長のお子さんたち若者も参加され、笑顔の絶えない時間を過ごすことができました。参加された24人の皆様、ありがとうございます。(文化部 倉持)



冷たい雨も止んで
笑顔でパチリ!

みんなが主役！クリスマス会★

昨年12月9日、育成会恒例のクリスマス会が千葉市療育センターで行われました。

島田会長の挨拶、来賓のご挨拶とご紹介からはじまり、千葉大学のチアリーディング「Lips」の生き生きとした演技、よさこいソーラン「チーム☆利刃蔵」の迫力ある演舞が披露されました。両チームの素晴らしいパフォーマンスに参加者は大喜び。アンコールの声が上がり、会場は大いに盛り上がりました。

全員参加のパン食い競争、サンタさんからのプレゼントコーナーに続いて、3年ぶりに「のんびり山オーケストラ」が登場しました。演奏が始まると、参加者が舞台の前に出てきて一緒に歌って踊って楽しみました。



サンタさん ありがとう

このクリスマス会には、毎年楽しみにして参加しているご本人や、家族揃って参加する人たちがいます。そしてこの日は、「あら、お久しぶり。元気だった？」と挨拶を交わすお母さんたちの声も聞こえました。

「以前参加した時は、子供がそわそわしていたけれど、今日は落ち着いて楽しんでる」と嬉しそうなお母さん、「楽しい！来年また来ます」と笑顔で話す学生ボランティアたちの姿もまた印象的でした。

最後に、スターライトセレモニーの厳かな雰囲気にもまれて、幕を閉じました。

クリスマス会に来ていただいた353人のみなさん、どうもありがとうございました。 (レク部 傍島)

ご報告

▼北海道胆振北部地震災害義援金のご協力ありがとうございました。
15万4400円を全国手をつなぐ育成会に送金しましたことをご報告致します。

育成会のうごき 11月～2月

- 11月 9日 ふれあいの家利用団体との意見交換会
- 10日 県立千葉特別支援学校もくせい祭 ソーイング部出店
- 11日 第8回ふれあいコンサート
- 14日 第44回千葉市特別支援教育振興大会
- 18日 千葉大附属特別支援学校ふよう祭
- 21日 防災への備えについての説明会
- 24日 千葉市コミュニケーション支援ボード説明会(P.1)
- 26日 まんま隊家族支援講習会
- 29日 第7回権利擁護セミナー
- 30日 千葉運輸支局バリアフリーネットワーク会議
- 12月 1日 第20回千葉市障害者福祉大会
- 4日 第27回さわやか芸能発表会
- 5・10・11・14日 各区おしゃべり会
- 5日 JR海浜幕張駅前の公衆トイレ改修に関わる説明会
- 7日 千葉市地域生活支援拠点事業懇談会(P.2)
- 9日 クリスマス会(P.4)
- 12日 「SHIRASE5002」&サッポロビール工場見学ツアー(P.3)
- 13日 千葉市社会福祉協議会評議員会
- 16日 肢体不自由児者父母の会クリスマス会
- 18日 千葉市社会福祉事業団評議員会
- 1月 20日 第3回だれもが住みやすい街づくりフォーラム
- 2月 3日 第15回自立支援セミナー2018
- 15・28日 せいかつ委員会企画 話そう会
- 23・24日 全国大会 京都大会

▼事務局 顔ぶれが代わりました▲

平成17年度から、多岐に渡る事務の仕事をして下さっていた北嶋祥子さんが2月14日に退職されました。本当に長い間ありがとうございました。

2月から黒田典子さんが引き継いでいます。会員の皆様どうぞよろしく願います。

北嶋祥子さんの話

「育成会での仕事初日は4月の理事会当日でした。部屋に一人、途方に暮れたことを懐かしく思います。長年に渡り拙い私の仕事を温かい目で見守りご協力頂きました新旧会長・副会長・理事の皆様には感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました」



黒田 典子さん

♥愛犬ミニチュアダックスフンドを飼っています